

発達障害サービス局

1215 O Street, MS 7-40
Sacramento, CA 95814
TTY: 711
(833) 421-0061



日付： 2022年2月11日

宛先： 地域センター事務局長

件名： 自己決定プログラム（SDP）実施支援給付金

Welfare and Institutions (W&I) のコードセクション4685.8(f) に基づき、2021~22年度の自己決定プログラム（SDP）実施を支援するための給付資金が地域センターに割り当てられました。この手紙の目的は、この給付金の使用についてのガイダンスを提供することで、これには地域のボランティア諮問委員会（LVAC）と連携して給付に関して各地で優先順位を決定することも含まれます。

W&Iコードセクション4685.8(f) は、こうした給付金がSDP参加者が自身の生活を最大限に活かすことによって、発達障害サービス局と地域センターによるプログラム実施を成功に導くことを定めています。W&Iの定めはさらに、発達障害サービス局（DDS）が、全州の自己決定諮問ワークグループを含む関係者との協議によって、給付金使途の優先順位を決めて参加者のニーズを満たし、サービスへのアクセスと公平性を向上して格差を縮小し、そして次のすべてに関するコストを含めてプログラムを実施することも求めています。

- 独立したファシリテーターの募集とトレーニング。バイリンガル、バイカルチュラルの独立ファシリテーターの増加を重視する。
- 参加者、家族、地域センター、LVACのメンバー、その他の合同トレーニングを行う。自己擁護者と、SDP参加者の少ない多様なコミュニティからの家族へのトレーニングに重点を置く。
- 支出計画の策定への支援。
- 継続的で、共有された学習、問題解決の機会を促進する協力的グループやワークショップ。

DDSは、SDPの実施に助言とガイダンスを行うにあたり重要な役割を担う全州自己決定諮問委員会には、別途給付資金を付与します。

「パートナーシップを築き、選択をサポートする」

地域センター事務局長
2022年2月11日
2ページ目

LVACは、SDPの実施と監督に関して重要な役割を果たします。そのため、地域センターとLVACは互いに協力して使用できる給付金の使途に優先順位を付け、各地域での参加者のニーズを満たすようにしてください。給付金は、各地のニーズについて合意が得られた後にのみ使用できます。給付金の使途、各地域センターに対して2021~22年に給付される金額、給付金使途決定のために推奨する手順については、付録1を参照してください。

この手紙の内容についてのご質問は、sdp@dds.ca.govまでお寄せください。

敬具

原本署名

マリクリス・エーコン
デビュティー・ディレクター
連邦プログラム・ディビジョン

cc: Regional Center Administrators (地域センター管理者)
Regional Center Chief Counselors (地域センターチーフカウンセラー)
Regional Center Community Services Directors (地域センターコミュニティサービス担当ディレクター)
Association of Regional Center Agencies (地域センター機関協会)
State Council on Developmental Disabilities (発達障害に関する州カウンスル)
ナンシー・バーグマン、DDS
ブライアン・ウィンドフィールド、DDS
カーラ・カスターニェーダ、DDS
ジム・ナイト、DDS
ティム・トラビス、DDS
エリカ・ライマー・スネル、DDS

自己決定プログラム（SDP）実施支援給付金

この付録のカバーレターに記載のとおり、給付金は Welfare and Institutions コード 4685.8(f) に従って SDP の実施支援のために給付されます。こうした給付金について可能な用途とその決定プロセス、給付金の使用について以下に記載します。

ステップ	内容
給付金用途の優先分野	<p>給付金用途の優先分野は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 独立ファシリテーターの募集やトレーニング- バイリンガルでバイカルチュラルを重視した、独立ファシリテーターを増やすことに関連するコスト。これにはトレーニング、翻訳/通訳、トレーニングの提供に関するコストなどを含みますが、これには限りません。 ● 協力的グループやワークショップ- 参加者と家族、プロバイダーなどに学習機会と問題解決の機会を提供するための継続的なものや、定期的なミーティング。コストには、スピーカー/プレゼンターの旅費、翻訳/通訳、資料、ミーティング会場経費などを含むが、これには限りません。 これには他の分野でLVAC/参加者と協力して学習機会/情報の共有の範囲を広げることも含むことができます。 ● 共同トレーニング- 参加者、家族、地域センターのスタッフと地域ボランティア諮問委員会のメンバーなどへのトレーニング。自己擁護と、自己決定プログラムへの参加の少ない多様なコミュニティからの家族へのトレーニングを重視。共同トレーニングはSDPに関わる人すべてが共有する理解を促進するための、共有する学習機会に重点を置いてください。コストには、トレーニングの開発や実施、翻訳/通訳、トレーニング実施に関するコストなどを含みますが、これには限りません。 ● SDPへの移行に対する支援/コーチング- SDPへの移行に際しての参加者への支援これには参加者にとってどの財務管理サービスモデルが最適かの決定、従業員の募集/採用、バックアップのスタッフについての計画などの分野を含むことができます。 ● 初期支出計画の策定- 参加者がその個人予算の使用に関する支出計画の策定についての支援。これには財務管理サービスとのコンサルティングを含むことができます。 ● その他の特定されたニーズ- 参加者のニーズとプログラムの

付録 1

	実施をサポートするアイテム/活動。
<p>給付金がどのように使われるかを決定</p>	<p>LVAC と地域センターは共同で SDP の実施に当たっての地域のニーズを評価して、使用できる給付金の最も良い使い道を決定します。この共同評価に基づいて、給付金を得る優先分や（上記）のリストを作成してください。これには選択した各分野で使う金額の見積もりも含めてください。この時点では、各分野に対する詳細な見積もり内訳は必要ありません。しかし、こうした詳細なコストに関する議論は見積もりに役立ちます。</p> <p>給付金の使途に関して合意が得られたら、LVAC と地域センターは共同で次を sdp@dds.ca.gov に報告してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 給付金を受ける予定の優先分野 ● 各優先分野に割り当てる給付金額の見積もり ● どのように決定したかについての概要 <p>参加者のニーズが変化するにつれて、継続的に変更をしても構いません。しかし、給付金の使用は常に W&I の定めとこのガイダンスに従ったものでなければならず、変更の決定は LVAC と地域センターが共同で行わなければなりません。</p>
<p>給付金の流れ</p>	<p>次のページに示す給付金額は、各地域センターに割り振られています。前述の通り、こうした給付金の使途に関する決定は LVAC と地域センターが共同で行う必要があります。地域センターはその後サービスを提供する個人/組織に払戻しを行います。</p>

付録 1

給付金の給付は、SDP の最初の実施中の各地域センターでの SDP スペースの数に応じて行われます。

SDP 参加者支援給付金 - 2021/2022 年度*

地域センター	各地域センターでの SDP スペース	給付金割当額
ACRC	179	\$146,064
CVRC	140	\$114,243
ELARC	110	\$89,760
FDLRC	73	\$59,568
FNRC	60	\$48,960
GGRC	68	\$55,488
HRC	99	\$80,784
IRC	256	\$208,896
KRC	95	\$77,522
NBRC	66	\$53,856
NLACRC	183	\$149,331
RCEB	154	\$125,664
RCOC	151	\$123,216
RCRC	55	\$44,880
SARC	125	\$102,000
SCLARC	110	\$89,760
SDRC	207	\$168,915
SGPRC	95	\$77,520
TCRC	110	\$89,760
VMRC	100	\$81,600
WRC	64	\$52,224
合計	2,500	\$2,040,011

*給付金は 2023 年 3 月までに支出する必要があります。